

**教育委員会**

( 予 算 額 )                      ( 決 算 額 )

**総務課**

**I 事務局費**

1	教育広報事業	17,171	16,866	教育委員会の広報活動を推進するため、県域テレビ・ラジオで教育番組を制作・放送するとともに、教育広報紙の発行を行った。
---	--------	--------	--------	--

**II 教育連絡調整費**

1	教育ネットワーク・ICT環境整備事業	350,761	349,506	県立学校及び県立教育施設のインターネット環境整備を行った。また、ICT学習環境を整備するため、電子黒板やプロジェクタ・スクリーン等を購入した。
2	被災児童生徒就学支援事業	180	69	東日本大震災で被災し、経済的理由から就園・就学が困難となった幼児児童生徒に対し、市町村が行う就学等支援事業に要する経費の補助を行った。
3	ICT活用教育推進プロジェクト事業	167,963	167,260	授業でのICT活用による分かりやすい授業の実現と子供たちの情報活用能力の育成を図るため、教員研修を2回実施した。また、教員用パソコンの維持管理を行った。
4	これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	8,518	7,127	専門性を必要とする業務に従事する教職員の知識、技能を向上させるとともに業務の負担軽減を図るため、退職教員を登用した。

(前年度繰越分)

1	教育ネットワーク・ICT環境整備事業	3,043	2,553	特別支援学校生徒の1人1台パソコン周辺機器を購入した。
---	--------------------	-------	-------	-----------------------------

**III 教育振興費（中学校費）**

1	県立中学校一般運営費事業	43,895	43,593	県立中学校5校の管理運営を行った。
---	--------------	--------	--------	-------------------

**IV 全日制高等学校管理費**

1	全日制高等学校一般運営費事業	1,150,634	1,141,538	全日制高等学校29校、分校4校の管理運営を行った。
---	----------------	-----------	-----------	---------------------------

**V 定時制高等学校管理費**

1	定時制高等学校一般運営	75,578	74,925	定時制高等学校9校の管理運営を行った。
---	-------------	--------	--------	---------------------

費事業

**VI 教育振興費（高等学校費）**

1 全日制高等学校遠距離通学費等補助金事業 4,430 3,634

特別地域（山間・へき地）から通学する県立全日制高等学校生徒に対し、通学費等の一部を補助することにより修学の機会均等を図った。

〔補助対象者数及び補助金額〕

区 分	人 数 (人)	補助金額
下宿	8	696
交通機関	49	2,747
単車・自転車	22	191
計	79	3,634

2 教育設備等整備事業 211,603 211,425

高等学校の産業教育設備、理科に係る設備の充実を図るため、実験・実習用備品の整備を行った。また、情報処理教育の充実を図るため、情報機器の設備更新等を行った。

(前年度繰越分)

1 教育設備等整備事業 105,304 69,521

高等学校の産業教育設備の充実を図るため、実習用備品の整備を行った。

**VII 学校建設費**

1 校地等整備事業 87,682 87,682

高等学校1校の運動場整備工事を行った。

・和歌山商業高校 運動場整備工事

2 大規模改造事業 882,809 783,531

高等学校3校において、築後20年以上の老朽建物の大規模改造工事を行った。

〔翌年度繰越額〕  
99,278

・橋本高校 特別教室棟 626㎡

・粉河高校 同窓会館棟 605㎡

・和歌山北高校北校舎 体育館・武道場 2,994㎡

3 校舎等増改築事業 216,636 76,555

高等学校1校において、寄宿舎及び講堂の新築工事を行った。

〔翌年度繰越額〕  
140,081

・熊野高校 寄宿舎新築工事

・熊野高校 講堂新築工事

**VIII 特別支援学校費**

1 特別支援学校一般運営費事業 842,394 835,084

特別支援学校11校の管理運営を行った。

**IX 教育振興費（特別支援学校費）**

1	特別支援学校教育設備等整備事業	58,049	57,927
---	-----------------	--------	--------

特別支援学校の教材の整備等を行った。

**X 特別支援学校建設費**

1	南紀・はまゆう支援学校再編整備事業	3,973,549	3,912,356
			〔翌年度繰越額〕 49,270

南紀・はまゆう統合支援学校（仮称）の校舎や寄宿舎の新築工事を行った。

- ・校舎（肢体棟） 6,742㎡
- ・寄宿舎 1,313㎡

（前年度繰越分）

1	特別支援学校校舎等整備事業	46,739	37,235
---	---------------	--------	--------

特別支援学校において、トイレの改修工事を行った。

- ・和歌山ろう学校 管理棟外トイレ改修工事

**教職員課**

**I 教育連絡調整費**

1	これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	3,015	1,435
---	-------------------------	-------	-------

将来管理職になっていく中堅教員を対象に、学校を管理運営する資質能力を育成するミドルリーダー育成研修、マネジメント力向上研修を開催するとともに、公立学校運営基礎資格試験を実施した。

**人権教育推進課**

**I 教育連絡調整費**

1	人権教育推進事業	3,095	2,614
---	----------	-------	-------

同和問題をはじめとした様々な人権問題の解決を目指し、学校における人権教育の推進を図るため、教職員の研修、学校訪問及び指導者用資料等の刊行等を行った。

**II 社会教育総務費**

1	人権教育総合推進事業	12,282	8,320
---	------------	--------	-------

人権問題に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図るため、人権問題に関する教育・啓発事業補助、保護者学級開設事業補助・委託、識字教育推進事業、人権教育指導者研修講座、人権教育地方別研修会、指導者用資料及び学習教材等の作成を行った。

2	学びのセーフティネット事業	22,958	19,232
---	---------------	--------	--------

年齢・国籍に関係なく、学び直しを希望する社会人等に学習機会を提供するため、定時制高等学校4校できのくに学びの教室を開設した。

- ・受講者数 147人

**生涯学習課**

### I 教育連絡調整費

1	奨学のための給付金（公立分）事業	271,037	232,170	授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等がいる低所得世帯に対して「奨学のための給付金」の支給を行った（2,049件）。
2	和歌山県大学生等進学支援金事業	102,858	96,235	意欲と能力が高い者が、経済的な事情に左右されず、大学等に進学して学び、将来の地域社会の担い手となるよう、低所得世帯の令和4年度入学予定者に対して「和歌山県大学生等進学支援金」を新たに貸与した（46人）。

### II 社会教育総務費

1	生涯学習推進の基盤整備事業	491	113	県民の新たな生涯学習の場として、地域住民や社会教育行政関係者を対象とした「学び・楽しみ・つながる」講座を実施した。 ・講座回数4回、受講者数延べ51人
2	地域ふれあいルーム推進事業	14,999	10,285	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、地域住民との交流活動等の取組を実施する拠点として、「地域ふれあいルーム」を開設し、大人と子供の交流活動を推進した。 ・地域ふれあいルーム 放課後子ども教室・土曜日等子ども教室 16市町86箇所（和歌山市を除く） 注）新型コロナウイルスの感染拡大のため3町4箇所については中止。 ・いきいき交流教室（県立特別支援学校） 10校10箇所
3	きのくにコミュニティスクール推進事業	9,560	7,075	きのくにコミュニティスクール推進に係る研修会やフォーラムを開催するとともに学校支援ボランティア活動を推進した。また、県内2市町（2本部）に地域共育コミュニティ本部を設置し、学校・家庭・地域が連携して子供たちの育ちを支える体制づくりを行った。
4	子どもの居場所づくり事業	18,510	15,093	放課後等に一人で過ごさなければならない小学校4年生から6年生等に対し、学習支援や大人とのふれあいの機会を定期的・継続的に提供し、学習習慣の定着やコミュニケーション力の向上等を支援する取組を実施した。 ・23市町村59箇所（和歌山市を除く。） 注）新型コロナウイルスの感染拡大のため2町2箇所については中止。
5	訪問型家庭教育支援事業	9,291	7,942	シンポジウムや専門講座を通して家庭教育について啓発を行い、家庭教育支援の関係者の資質向上と人材育成を行った。また、地域の子育て経験者や民生委員・児童委員など身近な人たちによる家庭教育支援チームへの支援及び子育て講座開設に係る支援を実施した（6市町）。

### III 視聴覚教育費

1	文化情報センター運営事業	16,524	15,682	県民カレッジや様々な事業の情報提供等を行うとともに、外部コーディネーターによる優れた音楽や文化の発信により、県の生涯学習推進の拠点施設として県民の幅広い生涯学習活動の促進を図った。
---	--------------	--------	--------	--

#### IV 図書館費

1	蔵書充実事業	62,447	61,943	県の中核図書館として、広く県民の生涯学習ニーズに応えるため、課題解決や子供の読書推進に必要な資料の充実を図った。また、和歌山県に関する資料の収集に努めた。 ・令和2年度末蔵書冊数 1,063,719冊 ・令和3年度末蔵書冊数 1,076,414冊
2	南葵音楽文庫事業	7,680	7,680	寄託された紀州徳川家ゆかりの南葵音楽文庫を保管・整備するとともに、文庫を活用した啓発・普及活動を行った。

#### スポーツ課

#### I 体育振興費

1	ゴールデンキッズ発掘プロジェクト事業	13,675	10,131	各種の体力測定により優れた素質を有する小学生を発掘し、発達段階に応じた様々な育成プログラムを実施した。令和3年度の体力測定会により、16期生30人を認定するとともに15期生7人を追加認定した。
2	国民体育大会・近畿ブロック大会派遣事業	18,246	10,468	秋田県で開催された第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会に本県選手団として監督・選手等10人を派遣した。また、大阪府を中心に開催された近畿ブロック大会には23競技に542人を派遣した。なお、三重県で開催が予定されていた第76回国民体育大会は中止となった。
3	和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催事業	24,500	3,283	第21回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会は、新型コロナウイルス感染症対策を行い準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大により、大会参加者及び関係者の安全を確保することが困難となったため、中止とした。
4	広域スポーツセンター育成事業	947	772	地域のスポーツ活動の核となる総合型地域スポーツクラブの支援・普及を図るため、(公社)県体育協会等にきのくに広域スポーツセンター事業を委託、実施した。
5	三四六総合運動公園管理運営事業	39,659	39,659	田辺市が運営する三四六総合運動公園の管理運営費のうち、旧南紀スポーツセンターに係る経費について、田辺市に交付した。
6	マスターズスポーツ推進事業	8,768	8,768	ワールドマスターズゲームズ2021関西の気運醸成のため、県内開催競技のテスト大会やイベント等において広報活動を行った。しかし、更なる延期が年度途中に決定したことに伴い、これまで進めてきた会場設営や競技会運営等の開催準備を一旦凍結し、準備再開後に向けた事務整理を行った。

7	スポーツキャンプ誘致の 推進事業	75,503	69,575	U-24東京オリンピック男子サッカーホンジュラス代表、ドイツ代表を含め、トップチームの合宿12件を受け入れた。
8	トップアスリート育成事 業	145,777	118,012	国民体育大会や国際大会等で活躍できる競技者の育成により、競技力の向上を図った。
9	コーチスキルアップ事業	12,765	7,894	トップコーチ招聘による各種研修会の実施や県内指導者の全国大会等競技会への派遣研修等により、指導者の資質の向上を図った。
10	スポーツ医・科学サポー ト事業	17,254	16,444	各専門機関と連携し、県内競技団体の指導者や競技者にスポーツ医・科学面からのサポートを実施した。
11	さあ スポーツだ！プロ ジェクト事業	10,020	9,360	生涯にわたってスポーツに親しむ気運を醸成するため、わかやまりレーマラソンやマスターズスポーツ体験会を開催した。
12	東京2020オリンピック ・パラリンピック聖火 リレー運営事業	1,803	1,750	東京2020オリンピック聖火リレーを関係市町及び関係機関とともに実施した。また東京2020パラリンピック聖火リレー聖火フェスティバルを実施した。
13	ハイスクール強化校指定 事業	22,250	14,002	本県高校生の競技力向上のために83運動部を指定し、実施する事業に対し支援した。
14	ジュニアハイスクール指 定事業	7,140	4,838	本県中学生の競技力向上のために46運動部を指定し、実施する事業に対し支援した。

## II 体育施設費

1	県立体育館・武道館維持 運営管理事業	60,198	59,423	県立体育館及び県立武道館の管理を指定管理者である（公財）和歌山県スポーツ振興財団に行わせた。 ・年間利用者数 70,712人
2	和歌山ビッグ愛・ビッグ ホエール・ビッグウエー ブ維持運営管理事業	597,091	484,319 （翌年度繰越額） 64,505	和歌山ビッグ愛、和歌山ビッグホエール及び和歌山ビッグウエーブの管理を指定管理者である（公財）和歌山県スポーツ振興財団に行わせた。 ・年間利用者数 245,118人

## 文化遺産課

### I 文化振興費

1	文化振興事業	904	838	芸術鑑賞の機会が少ない地域の子供たちに、一流の芸術に直接ふれる機会を提供するため、青少年劇場小公演を開催した。また、県立博物館施設において、入館料等のキャッシュレス決済を運用し、利用者の利便性向上を図った。 ・青少年劇場小公演回数 2回
---	--------	-----	-----	---

2	挑戦！わかやまの歴史事業	5,202	3,530	県内の中学生を対象とした和歌山の歴史や文化財に関するクイズ大会については、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催を中止したが、希望のあった学校を対象に代替企画を実施した（参加：6校・10チーム）。県立博物館における「けんぱく・こどもゼミ」については、運営を中止した。
---	--------------	-------	-------	--

(前年度繰越分)

1	文化振興事業	3,581	3,143	県立博物館施設の感染症対策として、サーマルカメラ、空気清浄機等を購入した。
---	--------	-------	-------	---------------------------------------

## II 文化財保護費

1	文化財保護育成補助事業	72,090	69,050 〔翌年度繰越額〕 2,285	国・県指定文化財及び埋蔵文化財の保存と活用を図るため、所有者等が実施する文化財保存事業に対して補助を行った。 ・建造物、美術工芸品、記念物等の保存修理等に係る補助金 38件 （国指定文化財：23件、県指定文化財：15件） ・発掘調査に係る補助金 8件
2	世界遺産管理事業	13,691	13,630	自然災害や経年劣化による参詣道、建造物等の復旧及び周辺整備並びに参詣道の維持管理等の事業に対して25件の補助を行った。
3	岩橋千塚古墳群追加指定事業	43,285	37,759	平成29年度及び30年度に作成した航空レーザー測量図を基に、追加指定候補地にある寺内18号墳周辺の地形測量及び発掘調査を行い、追加指定に必要な資料の収集を行った。また、3箇年計画で土地の境界確定事業を開始した。
4	未来につなげる文化財次世代継承事業	31,922	25,303	災害や盗難に備え、重要文化財建造物、仏像等のデータベース化を進めるとともに、仏像防犯設備の設置事業4件及び登録有形文化財保存修理事業8件に対し補助を行った。また、近代文化遺産の保存のための所在調査等を行った。
5	「岩橋千塚古墳群」魅力発信事業	9,078	9,078	世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」と特別史跡「岩橋千塚古墳群」に関するシンポジウムを首都圏において堺市と共同開催した。
6	特別史跡岩橋千塚古墳群等保存整備・活用事業	145,682	81,021 〔翌年度繰越額〕 64,128	天王塚古墳への連絡道路の設置工事を実施するとともに、天王塚古墳、大日山35号墳及び前山A13号墳の整備実施設計や大日山1号墳の保存修景工事など、特別史跡岩橋千塚古墳群の保存と活用のための整備を進めた。

(前年度繰越分)

1	文化財保護育成補助事業	11,259	11,259	国指定文化財等の保存と活用を図るため、所有者等が実施する文化財保存事業に対して補助を行った。 ・美術工芸品、記念物等の保存修理等に係る補助金 4件
---	-------------	--------	--------	--

2	特別史跡岩橋千塚古墳群 等保存整備・活用事業	25,035	13,899	天王塚古墳への連絡道路の設置工事を実施した。
<b>III 美術館費</b>				
1	展覧会開催事業	40,374	40,374	<p>県立近代美術館において、国内外の作家の優れた美術品を鑑賞する機会を提供するための企画展を4回、美術館所蔵の美術品を広く公開する常設展（コレクション展・特集展示）を4回開催した。</p> <p>・年間入館者数 31,360人</p>
2	芸術に親しもう！事業	4,699	4,699	<p>「なつやすみの美術館11 集まる庭」展で、御坊市出身の画家、野田裕示氏の作品を関連作家の作品とともに展示した。また、来館が困難な紀北地方の児童・生徒のために、おでかけ美術館として、橋本市教育文化会館で展示を行った。</p> <p>・おでかけ美術館 令和3年10月1日～10月24日、入館者数：391人</p>
3	大規模展覧会「和歌山ゆかりの近現代美術の精華」（仮称）事業	33,617	33,617	<p>和歌山県誕生150年及び紀の国わかやま文化祭2021特別連携事業として、和歌山ゆかりの近代・現代美術の重要作を分野ごとに紹介する「和歌山の近現代美術の精華」展を開催した。</p> <p>・会期：令和3年10月23日～12月19日、入館者数：12,565人</p>
<b>IV 博物館費</b>				
1	展覧会開催事業	3,851	3,746	<p>県立博物館において、特別展を2回、企画展を5回開催した。また、県民の生涯学習等に資するため、本県の原始から近現代に至るまでの歴史と文化を紹介する常設展示を行った。</p> <p>・年間入館者数 33,927人</p>
2	大規模特別展「きのくにの名宝」（仮称）事業	24,073	22,397	<p>県立博物館創立50周年記念事業として、県内に所在する国宝・重要文化財の展示を中心に、国立博物館に寄託されている文化財の里帰り展示も行う特別展「きのくにの名宝ー和歌山県の国宝・重要文化財ー」を開催した。</p> <p>・会期：令和3年10月16日～11月23日、入館者数：9,465人</p>
<b>V 紀伊風土記の丘管理費</b>				
1	展示・調査事業	2,147	1,667	<p>紀伊風土記の丘において、調査研究の成果をもとに企画展を3回開催した。また、常設展を通年開催した。</p> <p>・年間入館者数 11,280人</p>
2	ふるさと紀の国ふれあい体験事業	2,129	1,970	<p>郷土の歴史や文化に対する関心を高めるため、小学生から大人までを対象に各種催し物を開催した。</p> <p>・参加者数 延べ2,453人</p>



3	紀伊風土記の丘新館建設事業	9,780	9,780	新館用地における遺跡確認調査等を行い、埋蔵文化財の遺存状況を確認した。
4	特別展「海に挑み、海をひらく」事業	10,789	10,633	紀伊風土記の丘開館50周年記念事業として、古代から現代に至るまでの紀伊半島の海洋民が果たした文化的役割を紹介する特別展「海に挑み、海をひらくーきのくに七千年の文化交流史ー」を開催した。 ・会期：令和3年10月2日～12月5日、入館者数：3,947人

## VI 自然博物館費

1	教育普及展示事業	7,207	7,207	自然博物館において、自然に関する知識を広く県民に普及させるため、特別展を1回、講演会を1回開催した。また、小・中学校や教育団体等を対象とした出前教室を4回（対象142人）、各種イベントを18回、ジュニア自然博アカデミーを6分野で実施した。 ・年間入館者数 99,280人
---	----------	-------	-------	--

## 県立学校教育課

### I 教育連絡調整費

1	特別支援学校看護師派遣事業	75,075	67,278	医療的ケアを必要とする幼児児童生徒が在籍する特別支援学校9校に看護師を派遣し、医療行為等専門的な対応を行った。対象幼児児童生徒の在籍が多い学校に看護師の複数配置を行った。
2	国際人育成プロジェクト事業	132,281	131,686	実践的な英語力向上に向けた授業改善を目的とした高等学校の英語科教員対象の研修や、高校生英語ディベート大会及びわかやま高校生クイズ in English等を開催した。
3	きのくに科学オリンピック事業	975	288	高校生を対象（参加：4校・7チーム）に科学や理数系分野への学習意欲の向上を図り、科学技術の発展を担う人材を育成することを目的としたきのくに科学オリンピックを開催し、「科学の甲子園」全国大会への出場校を決定した。
4	就職支援プロジェクト事業	36,294	33,448	民間企業経験者14人を就職希望者の多い県立学校16校2分校に就職指導員として配置し、求人開拓、就職した卒業生の訪問、生徒への相談活動や社会人基礎力を身につけるための指導等を行った。
5	学習指導支援員派遣事業	1,610	1,116	若手教員等への学習指導等に関するスキルの継承を図るため、学習指導支援員を県立学校13校に派遣した（延べ72人）。
6	きのくにコミュニティスクール推進事業	4,073	1,667	全ての県立学校に学校運営協議会を設置し、地域住民や保護者等を委員に任命した。また、各協議会において、年間3回程度の会議を開催し、学校運営の基本方針の承認や課題解決のための具体的な手立てについての協議を行った。

7	きのくにICT教育事業	10,207	9,337	県内全ての公立学校においてプログラミング教育を実施した。また、プログラミングについての教員研修を実施するとともに、プログラミング教育支援員を11校に派遣した。
8	わかやま農業教育一貫プロジェクト事業	1,640	695	農業系高校の学習成果を発表する場として、わかやま農業高校マルシェを開催した。また、学習内容や農業を支える人材育成について協議するわかやま農業教育推進協議会を開催した。
9	串本のロケット打ち上げを活用した科学力向上プロジェクト事業	1,014	271	児童生徒の宇宙をはじめとする科学への興味・関心を高めるため、シンポジウム及び関連イベントへの参加を促進した。ロケット発射見学については、発射時期の延期のため中止した。
10	オンライン授業で学びの深化事業	47,455	34,887	オンライン授業の配信用動画作成・指導方法に係る研修会の実施及び新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業時におけるモバイルルーターの貸与等、オンライン学習環境の整備を行った。
<b>II 文化振興費</b>				
1	高等学校文化部活動支援事業	1,658	1,562	県高等学校総合文化祭の開催費を補助することにより、生徒の相互交流と芸術文化活動の活性化、文化部活動の発表の場の確保等、高等学校文化部活動の支援を行った。
2	全国高等学校総合文化祭開催事業	242,455	239,508	第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会として、総合開会式・パレードの開会行事及び各部門大会を開催した。また、大会PRイベント等の広報活動を行うとともに、生徒企画委員会等を開催した。
3	近畿高等学校総合文化祭開催準備事業	4,915	4,890	第42回近畿高等学校総合文化祭和歌山大会の開催に向けた準備を行った。
<b>III 体育振興費</b>				
1	全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会開催事業	21,270	21,270	令和3年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会の開催に必要な経費に対して補助を行った。
<b>義務教育課</b>				
<b>I 教育連絡調整費</b>				
1	国際人育成プロジェクト事業	29,581	28,247	教員の英語指導力向上を図るため、小学校の教員及び中学校の英語科教員等を対象とした研修を実施した。また、英語への興味・関心の喚起と英語力の向上を図るため、公立中学3年生を対象に英語検定を学習指導に活用した。
2	きのくに科学オリンピッ	278	276	科学に関心のある中学生が切磋琢磨する場を設け、科学や理数系分野への学習意欲の一

ク事業				層の向上を図った。
3 学校図書館の充実事業	1,353	335		学校図書館の整備充実と活用促進を図るとともに、県内の公立小・中・義務教育学校の学校図書館担当教員等を対象に研修会を実施した。
4 幼児教育関係職員研修事業	981	487		公私立の幼稚園・保育所・認定こども園の職員を対象に、その資質向上を図るため職種や経験年数に応じた研修や、保育者に必要なテーマを設けた研修会を実施した。
5 わかやまふるさと検定事業	2,372	2,328		ふるさとへの愛着を高めるふるさと教育を推進するとともに、生徒がその学習成果を確かめる機会を提供するため、県内の中学生及び高校生を対象に、「わかやまふるさと検定」を実施し、県内の9,330人の中学生及び高校生が受検した。
6 幼児教育総合プロジェクト事業	5,133	4,890		幼児教育アドバイザーを2人配置し、幼稚園・保育所・認定こども園を訪問して保育実践に対する助言を行い、幼児教育の質の向上を図った。また、幼児教育と小学校教育の連携及び円滑な接続を推進するため、幼児教育関係者と小学校教育関係者が集う研修会を県内6地域で開催した。
7 きのくにICT教育事業	61,975	60,682		県内全ての公立学校においてプログラミング教育を実施した。また、授業等で教員のサポートを行うプログラミング教育支援員を小学校117校、中学校41校に派遣した。
8 これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	1,608	936		教員の指導力向上のため、各教科研究団体等が実施する研究会での講演等における講師招聘の支援を13件行った。
9 きのくに学力向上総合戦略事業	18,167	17,144		小学校4・5年生、中学校1・2年生を対象に国語、算数・数学及び理科（理科は、小学校5年生・中学校2年生のみ）の学習到達度調査を実施し、学習到達状況や改善状況を把握するとともに、「結果分析と指導のポイント」を各学校に提供した。また、学力向上に係る小・中学校校長研修会等、教職員を対象とした研修を開催した。
10 きのくに学力定着フォローアップ事業	9,971	9,230		優れた教育実践力を持つ退職教員等をアドバイザー（35人）として、課題の大きい学校（41校：小学校27校・中学校14校）に派遣し、授業改善など学力向上の取組を支援した。
11 部活動推進事業	31,117	22,097		中学校の部活動に部活動指導員を90人派遣し、部活動の活性化と顧問教員の負担軽減を図った。
12 読書を楽しむ習慣づくり事業	1,000	1,000		小学生の読書を楽しむ習慣づくりを支援するため、積極的に読書に取り組んでいる小学校を表彰した。
13 串本のロケット打ち上げを活用した科学力向上プロジェクト事業	2,214	195		児童生徒の宇宙及び最先端の科学技術に関する知識を深め、宇宙をはじめ科学への興味・関心を高めるため、「宇宙シンポジウム in 串本」の案内チラシを作成・配布した。ロケット発射見学については、発射時期の延期のため中止した。

## II 体育振興費

1 学校体育等指導事業	815	638		児童生徒の体力向上に向けて、体育授業及び運動部活動の充実・改善を図った。
-------------	-----	-----	--	--------------------------------------

## 教育センター学びの丘

### I 教育センター費

#### 1 基本研修事業

12,217

10,900

小・中・高・特別支援学校の新規採用及び中堅教員並びに幼稚園等の新規採用及び中堅教員を対象とした研修を実施した。

〔初任者研修対象者〕

校 種	拠点校方式		単独校方式		備 考
	学校数	人数	学校数	人数	
小学校	95	112	1	1	
中学校	54	68	2	2	
高等学校	0	0	17	27	
特別支援学校	6	24	7	13	
計	155	204	27	43	内4校両方式重複

〔中堅教諭等資質向上研修対象者〕

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合 計
中堅教員	102人	54人	78人	27人	261人

〔幼稚園等教員研修対象者〕

区分	公立幼稚園	私立幼稚園	認定こども園
新規採用教員	4人	28人	69人
中堅教員	8人	9人	22人

#### 2 専門研修事業

3,894

2,784

教職員としての資質・能力の向上を図るため、校種、職種、教科、職務等に応じた研修を行った。また、長期研修として、教員が教育センター学びの丘で1年間、研究に取り組んだ。さらに、社会体験研修として、教員を社会教育施設、社会福祉施設等に1年間派遣し、資質・能力の向上を図った。

〔研修講座実施状況〕

講 座 数		46講座
受 講 者	小学校	866人
	中学校	584人
	高等学校	409人
	特別支援学校	193人
	計	2,052人

〔主な講座内容〕

- ・教育経営研修
- ・特別支援学級担当教員研修
- ・学校事務職員研修
- ・特別支援教育研修
- ・教職等専門研修
- ・養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員研修
- ・主任等研修
- ・各教科等研修
- ・教育相談研修

3 研究推進・調査研究事業 2,312 2,041

研究推進事業として、県内の公立学校15校と3関係機関等に対し、授業力や学校力向上に係る研究支援を延べ71回行った。また、校内研修や個人研修等の充実に資するための動画研修パッケージを8本作成した。さらに、調査研究事業として、教員の授業力向上に資する「複式学級における授業づくり研究会」、「1人1台学習端末を効果的に活用する授業づくり研究会」を5回ずつ実施した。

## 教育支援課

### I 教育連絡調整費

1 不登校等総合対策事業 385,277 348,195

不登校・いじめ等問題を抱えている児童生徒の心のケアを図り、教員の資質向上及び各学校の教育相談体制を充実させるため、小学校159校、中学校112校、義務教育学校1校、県立高等学校46校及び特別支援学校10校にスクールカウンセラー等を配置し、小中学校の未配置校には、近隣の拠点校からスクールカウンセラーを派遣して対応した。また、スクールソーシャルワーカー等を30市町村（和歌山市は独自で配置）と県立高等学校17校に配置した。

2 教育相談推進事業 2,369 2,129

児童生徒の心理的な諸問題や、特別な支援を必要とする子供の教育に関して、教職員等の相談に応じ、問題解決のために専門的立場から支援した。

〔年間教育相談実施状況〕

校種	小学校	中学校	県立学校	その他	計
相談件数	81件	34件	35件	0件	150件

3 学びのセーフティネット事業 63,886 52,025

不登校児童生徒等の学校復帰と学力保障のため、適応指導教室を設置する14市町村に、訪問支援員を配置した。

### II 保健体育総務費

1 保健・給食管理運営事業 118,327 4,049  
} 翌年度繰越額 111,200

学校給食での県産品・ジビエの利用拡大を図るため、リーフレットを作成した。また、学校給食における安全安心の確保のため、学校給食用食品衛生検査を実施した。

2 教職員児童生徒健康管理・健康指導事業 72,186 68,715

児童生徒等及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法等に基づく健康診断を実施した。また、健康教育の推進及び健康課題の解決に向けた研修会や協議会を開催した。

3 学校安全管理指導事業 126,866 95,969

児童生徒の事故等に対応するための保険に加入するとともに、災害に対して給付金を支給した。

4 学校を守る 地域を守る 3,033 2,118

学校と地域の防災力アップのため、災害時に児童生徒を守る防災リーダー（管理職等）

5	防災リーダー育成事業 ストップ！スマホ・ゲ ーム依存事業	2,135	1,554	と地域の支援活動等の担い手となる高校生・教職員を育成した。 ゲームやスマートフォン等の適切な利用に関する動画教材を作成し、正しい知識と依存 による様々な影響について啓発を行った。
(前年度繰越分)				
1	保健体育・給食管理運営 事業	112,400	112,400	県立学校の感染症防止対策のため、保健衛生用品等を購入した。